

取 材 案 内

会 社 名 日 本 サード・パーティ株式会社

代表者名 代表取締役社長 森 和昭

(JASDAQコード番号:2488)

問合せ先 取締役事業戦略室担当 佐伯 康雄

(電話 03-6408-2488)

『放射能プレミアムドック』センター開設

(被ばく/食品汚染検査、ガイガー・サービス、検査従事者教育) に関する取材案内

日本サード・パーティ株式会社は、(本社:東京都品川区北品川 4-7-35 御殿山トラストタワー)にて平成24年1月16日(月):『放射能プレミアムドック』センターを開設します。本センターでは、福島第一原子力発電所事故に伴う放射性物質による「少量/長期的な被ばく」に対する「内部被ばく」「甲状腺被ばく」「食品汚染」に関する検査サービス並びに、検査従事者育成教育サービス等を実施します。センター開設に当たっては、ベラルーシ共和国政府、在日ベラルーシ大使館の協力・支援を得て、「国民が安心して生活を送れる環境の提供」と、被ばく検査データの蓄積に基づく国際的な医療・分析機関等とのデータ連携による「被ばく医療の知見確立」の一助になることを目的として開設し、本センターの『開所式と各検査のデモンストレーション』を、在日ベラルーシ大使館:セルゲイ・ラハマノフ大使をお招きし、次の通り執り行います。

『放射能プレミアムドック』の提供サービス内容

- 椅子型ホールボディカウンターによる『内部被ばく検査』
- 甲状腺モニターによる『甲状腺被ばく検査』
- 食品スクリーニングモニターによる『食品汚染検査』
- 「ベビーガイガー・サービス」「トラベルガイガー・サービス」の受付・手続き
- 検査従事者向け、トレーニングセンターでの『ハンズオン(実機を使用した実習)教育』

現在、内部被ばく検査に関しては、放射線業務従事者の労災対応を目的として、緊急被ばく医療機関を中心に、ホールボディカウンターが設置されていますが、一般検査として個人が検査を受けられない状況です。そのため、生涯被ばく量のガイドラインが出たとしても一般の方が、検査を受け被ばく状態を知るすべもなく、少量/長期間の被ばくの人体への影響についての因果関係などの研究・知見確立に活かすこともできない状況です。これらの課題解決として、チェルノブイリ原発事故の被爆国であるベラルーシ共和国の経験と国民に対する検査体制をベラルーシ共和国政府、在日ベラルーシ大使館の協力・支援のもと、民間主導で確立いたしました。本サービスは、ベラルーシ共和国のアトムテックス社製、ポリマスター社製の検査機器、ガイガーカウンターを導入、技術協力体制を構築し提供します。

【ブリーフィング】

日時 :平成 24 年 1 月 16 日(月) 10:30~11:00 (報道受付:本社14階 10:00~)

【開所式と各検査のデモンストレーション】

日時 :平成 24 年 1 月 16 日(月) 11:00~12:00

【出席者】 :在日ベラルーシ大使館 大使 セルゲイ・ラハマノフ氏
アトムテックス社 社長 ヴァレリ・コゼミヤキン氏

FAX 03-6859-4797

e-mail webmaster@jtp.co.jp

取材申請書

『放射能プレミアムブック』センター開設に関する取材
(被ばく/食品汚染検査、ガイガー・サービス、検査従事者教育)

【ブリーフィング】

日 時 :平成 24 年 1 月 16 日(月) 10:30~11:00
(報道受付/本社14階 :10:00~)

【開所式と各検査のデモンストレーション】

日 時 :平成 24 年 1 月 16 日(月) 11:00~12:00

【出席者】

在日ベラルーシ大使館 大使 セルゲイ・ラハマノフ氏
アトムテックス社 社長 ヴアレリ・コゼミヤキン氏

貴社名	
ご住所	
電話番号	
当日連絡先番号	
当日取材者名	(所属)
(所属)	(所属)
	(所属)
備 考	

お問い合わせ先

日本サード・パーティ株式会社 事業戦略本部 担当:佐伯
〒〒140-0001 東京都品川区北品川 4-7-35 御殿山トラストタワー14 階
TEL.03-6408-2488(代表) FAX.03-6859-4797 (当日:090-3318-7918)